

# 短期繰り返しリリースを目指した テスト、品質管理

丹野 治門<sup>†1</sup> 高田 眞吾<sup>†2</sup>

**概要:** 近年、アプリケーションに対するユーザのニーズの変化や、アプリケーションのプラットフォームとなるソフトウェア、ハードウェアの進化のスピードが速いため、これらに対し、アプリケーションを短期間で対応させ、一定の品質を確保しつつリリースしていくことが強く求められている。本ワークショップでは、アプリケーション開発の短期繰り返しリリースを目指し、(1) 品質確保の要となり繰り返し行われるテストをいかに効率よく行うか、(2) 品質管理を設計、実装、運用などにおいてどのような考え方で行っていくか、について、将来有用そうな要素技術や、実際の開発現場における事例(成功事例、失敗事例や課題など)に関する発表と議論を行い、参加者らの知見を共有、発展させることを目的とする。具体的なトピックは、例えば以下が考えられる。

- 要素技術：テスト自動化技術、回帰テスト支援技術、影響分析、テスト優先度付技術、品質評価指標
- 事例：改造開発におけるテストや品質管理の課題、アジャイルやリーン開発導入の成功/失敗事例

---

†1 日本電信電話株式会社  
Nippon Telegraph and Telephone Corporation

†2 慶應義塾大学  
Keio University